

巻頭言

“インダストリー・モビリティ”の特集号に 寄せて

Foreword to Special Issue on Industry & Mobility



加賀邦彦 *Kunihiko Kaga*

代表執行役 専務執行役 インダストリー・モビリティビジネスエリアオーナー
Representative Executive Officer, Senior Vice President, Industry & Mobility Business Area Owner

三菱電機グループでは、事業を通じた社会課題解決による持続的な社会への貢献を中心としたサステナビリティの実現を目指しています。顧客のデータから蓄積されたフィールドナレッジをよりスマートにデジタル化し、AI、モデリングなどの先進デジタル技術と融合させ、当社デジタル基盤“Serendie”（セレンディエ）と連携することで当社の強みを最大限に高める循環型 デジタル・エンジニアリングの事業モデルへと変革させます。当社が強みとするOT(Operational Technology)、ドメイン知識、セキュリティー、開発設計力などの技術資産を統合し、異なる事業領域のシステム間のデータ連携を進めて、複雑な社会課題を解決するソリューションを創出し続けることで、より良い社会に貢献していきます。インダストリー・モビリティBAではデジタル先鋭化されたコアコンポーネント群とデジタル技術で未来の“ものづくり”と“快適な移動”を支える技術シナジーを最大化し、FAシステム事業と自動車機器事業のものづくり力とデジタルソリューション事業を相互に強化させていきます。

この特集号では、インダストリー領域での循環型 デジタル・エンジニアリングの具体的な取組みとして、FA機器から発生するデータを活用して製造品質や設備稼働管理・改善を支援する製造支援ソリューション(SaaS)と、当社デジタル基盤Serendieと連携することで、データ付加価値を高め顧客起点での提供価値を創出していくFAデジタルソリューションについて紹介します。また新製品となるデジタル先鋭化コンポーネントとして、シーケンサでこれまで培ってきた各種制御とモーション技術をソフトウェアディファインドの視点で1ユニットに統合した、FA統合コントローラ“MELSEC MXコントローラ”及び新制御“MELFA High Drive”搭載によって、基本性能を大幅に向上させた産業用ロボット“MELFA FRシリーズ FR PLUS”，そして2024年十大新製品賞を受賞した、直線型・曲線型モジュラーを組み合わせることでフレキシブルかつ省スペースな高速搬送システムを構築できるリニアトラックシステム“MTR-Sシリーズ”を紹介します。

モビリティ領域では、自動車の先進運転支援機能の進化が続いており、当社は事故のない安心・安全な社会を目指して、この先進運転支援機能を支える重要な部品を開発、提供し、その進化をリードしています。この特集号では、自動車で更に安全に移動するための技術として、高精度衛星測位技術を活用して道路上の自車位置を正確に特定するとともに、車外通信によって周辺の自動車との相対位置を把握し、衝突を回避する“高精度ロケータ”及び“V2X(Vehicle to everything)”技術を紹介します。また日々安心して自動車を利用するために、車室内のドライバーや乗員の状態をセンシングし、ドライバーの脇見、居眠りや、駐車時の乗員の閉じ込めを検出して警告する“DMS(Driver Monitoring System)”及び“車内レーダー”技術、その応用として夜間ドライバーが気付いていない歩行者に、光で注意を促す灯火制御技術を紹介します。最後にこれら製品の原価を抑えて、より多くの自動車に搭載可能にするための“マイコンレスSoC(System on a Chip)制御技術”についても紹介します。

複雑で変動の激しい現代社会で、インダストリー・モビリティBAでは自らがゲームチェンジャーとなり未来の可能性に挑戦し続けます。そのため、起こり得る未来から未来価値を洞察して中期技術戦略を考えるバックキャストアプローチと、技術トレンドを手の内化し確実に事業拡大につなげるフォアキャストアプローチの両輪で、既存事業を変革する技術開発に挑戦し、新たな市場と顧客を開拓していきます。